

2010年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険I型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する変額個人年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2011年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2010年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向 (2010年4月1日～2011年3月31日)

【市場動向】

2010年度の国内債券市場は、期初より世界的に長期金利が低下する流れとなり、8月には7年ぶりに10年物国債利回りで1%を下回り、その後10月に日銀が金融緩和策を発表すると0.8%台前半まで低下しました。しかし、11月以降、国内株式が堅調に推移し始めると利回りは上昇に転じ、年明け以降は、概ね1.1%～1.3%のレンジ内での推移となりました。

外国債券市場についても、欧州財政問題や米国景気減速懸念から、秋口までは金利は低下傾向で推移しましたが、その後は景気の回復期待を背景に上昇傾向で推移しました。

国内株式市場は、年度前半は、欧州の財政危機に端を発する金融不安の深刻化に加え、米国の経済指標の悪化から海外株式が下落したことや円高傾向が相まって弱い展開となり、8月下旬には日経平均株価で8,000円台となりました。年度後半については、米国の金融緩和や日銀の金融緩和を受けて概ね堅調な推移となりましたが、3月の東北地方太平洋沖地震によりリスク回避指向が高まり一時8,227円まで急落しました。しかし、その後は海外株式の上昇や円安の進行を受け、3月末の日経平均株価は結局9,755.10円で終了しました。

外国株式市場は、年度前半はレンジ内で推移しましたが、年度後半は景気回復期待と金融緩和の維持を背景に概ね、上昇傾向で推移しました。

為替相場においては、年度前半は、欧州財政問題および米国の弱い経済指標による米国景気減速懸念から円高ドル安基調となりました。9月に82円台となると、政府日銀は6年半ぶりとなる円売り介入を実施したためその後は80円台～84円台での推移となりました。その後、3月の地震により本邦企業による資金の本国送還が意識され、史上最高値となる76.26円を一時つけましたが、G7による協調介入が実施されたこともあり、3月末のドル円相場は結局、83円台で終了しました。

【主な市場の動向】

	日経平均株価(円)	10年国債利回り(日本)	NYダウ平均株価(US\$)	10年国債利回り(米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2010年3月末	11089.94	1.395%	10856.63	3.83%	93.04	124.92
2011年3月末	9755.1	1.255%	12319.73	3.47%	83.15	117.57
変化率	-12.0%	0.14%低下	13.5%	0.36%低下	-10.6%	-5.9%

2. 保有契約高

	件数	金額(万円)
変額個人年金保険 I 型 (年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)	31	6,400

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2010年3月末	91.8247	
2010年4月末	90.8589	-1.05%
2010年5月末	87.4980	-4.71%
2010年6月末	85.5449	-6.84%
2010年7月末	86.7436	-5.53%
2010年8月末	84.9097	-7.53%
2010年9月末	86.3241	-5.99%
2010年10月末	84.8213	-7.63%
2010年11月末	87.7025	-4.49%
2010年12月末	90.0996	-1.88%
2011年1月末	89.9817	-2.01%
2011年2月末	92.3427	+0.56%
2011年3月末	88.5579	-3.56%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。

運用利回りはユニットバリューの2010年3月末からの伸び率を記載しております。

4. 資産の内訳

	金額	構成比
現預金・コールローン	1,228	2.1
その他の有価証券	56,839	97.7
その他	86	0.1
合計	58,154	100.0

5. 運用収支状況(2010年4月1日～2011年3月31日)

	金額
利息配当金収入	25
有価証券評価益	1,322
その他の収益	—
有価証券評価損	3,241
その他の費用	15
収支差計	▲1,908

6. 特別勘定の運用状況（特別勘定名）国内バランス50

■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「ブルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド（適格機関投資家向け）」（運用会社：ブルデンシャル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社）に投資することにより行います。

■運用内容

特別勘定への資金の流出入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

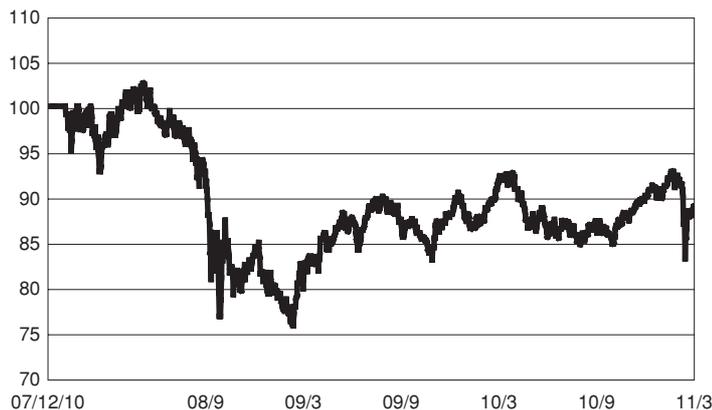
当年度末の投資信託の組入れ比率は97.9%です。

当年度末のユニットバリューは88.5579となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は-11.44%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

■ユニットバリューの推移と運用利回り

設定日：2007年12月10日



	ユニットバリュー	運用利回り
2010年3月末	91.8247	
2010年4月末	90.8589	-1.05%
2010年5月末	87.4980	-4.71%
2010年6月末	85.5449	-6.84%
2010年7月末	86.7436	-5.53%
2010年8月末	84.9097	-7.53%
2010年9月末	86.3241	-5.99%
2010年10月末	84.8213	-7.63%
2010年11月末	87.7025	-4.49%
2010年12月末	90.0996	-1.88%
2011年1月末	89.9817	-2.01%
2011年2月末	92.3427	+0.56%
2011年3月末	88.5579	-3.56%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2010年3月末からの伸び率を記載しております。

(単位:千円)

■保有有価証券の明細

銘柄名	種別	時価額
ブルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド(適格機関投資家向け)	投資信託	56,839

ご契約に関する
ご照会は
コールセンターまで

☎ コールセンター フリー
ダイヤル  ジ ブ ロック **0120-59-2269**
受付時間 平日8:30～20:00 / 土曜9:00～17:00 (日・祝・12/31～1/3を除く)